



# BベTELH通信

## 2021年1月号（第210号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 TEL 089 - 925 - 5000  
ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>



### 新年のご挨拶



皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナで明けコロナで暮れた1年でした。まさかこんな事態になるとはだれも予想だにできなかった1年だったのではないのでしょうか。しかし、感染の拡大は年が明けても収束に向かうとは言い難く、2021年もコロナ問題と向き合いながら歩んでゆくことになりそうな新しい年の始まりです。

人類の歴史は感染症との戦いの歴史であったと言っても過言ではありません。正岡子規も罹っていた結核は戦後すぐまでは死亡率第1位の死に至る病と恐れられていました。しかし、抗結核薬が開発され現在ではほぼ制圧されている病気です。天然痘はワクチンの接種（種痘の普及）によりその発生数は減少し、1980年に世界根絶宣言が出された病気です。20世紀初頭に世界的に流行し多くの犠牲者を出したスペイン風邪はインフルエンザウイルスによる感染症でした。3年という長い歳月ではありましたが、ワクチンも治療薬もない時代にパンデミックを乗り越えました。今回の新型コロナウイルス感染症は現在のところ有効な治療法がない状況で猛威を振るってはいますが、人類の感染症との闘いの中で“禍”を乗り越えてきた歴史を思うと、人類の英知をもってすれば必ずや制圧できる病気であると確信しています。

しかし、日本においてはワクチンも治療薬もない医療的には無防備な状態にあり、今すべき“何か”を私たち一人一人が明確に自覚し実践する事だと思っています。厚生省からも提唱されている基本的な感染予防対策が、一人一人がなすべき“何か”であると思います。

・「3密」を徹底的に避ける事（2020年流行語大賞に選ばれてしまいました）

①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）

②密集場所（多くの人々が密集している）

③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

・人と人との距離の確保（ソーシャルディスタンス）

・マスクの着用「手洗いなどの手指衛生」（アルコール消毒、石鹸での手洗い）

感染症とは原因となる病原体が外から体内へ入ることによって引き起こされる病気です。ワクチンや治療薬のない現状では上記の対処が一番効果的な予防法です。重症化しやすい方へうつるリスクも減らすことになり、自分自身はもちろん他人に優しい確実な対処方法だと言えます。

一方で、コロナ禍は人として大切なものを奪ってしまう結果も生み出しています。それは“繋がり”、“絆”を奪ってしまう事です。現在病院ではご家族の皆様の入館の制限処置を取らせていただいています。この処置で患者さま、ご家族の皆さんへ大きな負担をかけていますが、同時にスタッフも悩み苦しみながら対応していることをご理解頂けたらと思っています。スタッフとご利用いただく皆さんという関係ではなく、同じ“人”としてこの問題に対処して行きましょう。まだまだ続くコロナ禍へ患者さま・ご家族さまそして私たちスタッフ皆で力を合わせ本年もまた共に歩んでゆきたいと思っています。

（松山ベテル病院 院長 中橋 恒）



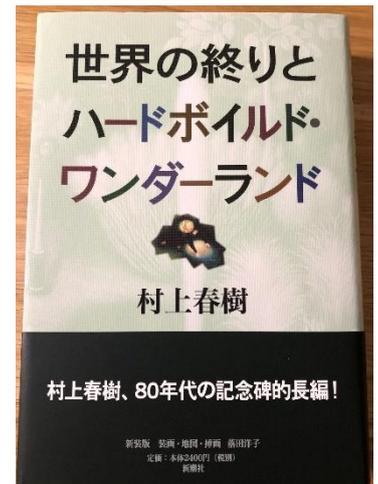
## 読書の冬



皆さんは読書をするとき、本を選ぶ基準はありますか？仕事に関する本を読むので精一杯、という方もおられると思います。実際私も医師になって当初は、勉強しないといけないのに日々の仕事で疲れ果ててしまい、仕事に必要な本さえ読むことがままならない時期が長くありました。ベテル病院で勤務をはじめもうすぐ10年がきますが、ようやく生活のリズムが落ち着き今は精力的に読書をしています。

村上春樹さんという作家がおられます。初めて読んだ作品は『ノルウェイの森』でした。出版は1987年ですが、文庫化された1991年に書店で購入しました。ご存知の方も多いと思いますが村上春樹さんの小説は恋愛を題材としたものが多く、『ノルウェイの森』は中学3年生の私には難解でした。そのため読み終えた後はあまり記憶に残ることなく、その後は村上春樹さんの作品から遠ざかっていました。

それから20年の月日が流れてベテル病院に勤務するようになり、緩和ケア病棟の本棚で偶然ノルウェイの森に再会しました。もう一度読み終えると、今度はその内容の深さにぐいぐいと引き込まれ、それからは村上春樹さんの著書を意欲的に収集するようになりました。一番のお気に入りには『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』という本で、作品世界の時間軸が複雑に絡み合いながら(歪みながら?)、二つの物語が一気に収束していく結末にゾクゾクしました(ネタバレ



レになりかねないですね)。文庫本を読み終えていましたが、単行本の新装版が発刊されたとのことで、装丁の美しさ(写真)に惚れ込み保存用として新たに購入しました。

激動の2020年がいよいよ終わりを迎えます。来たる2021年が素晴らしい1年であることを願ってベテル通信6回分の連載を終わります。お付き合い頂きどうもありがとうございました。



( 内科医師 越智拓良 )



ベテル  
医療相談室  
地域医療連携室から

## 障害年金の基礎知識②

★障害年金というと、肢体障害、目の障害、聴力の障害など外見でわかる障害のイメージが強いですが、実は様々な傷病が障害年金の対象となります。障害年金の対象となる傷病をご紹介しますのでご覧ください。これらはほんの一部で、本当に多くの傷病やケガが対象になります。しかし同じような症状でも、傷病名によっては対象外とされてしまうこともありますので、注意が必要です。

身体部位	疾患名
眼	ブドウ膜炎、緑内障(ベーチェット病によるもの含む)、白内障、眼球萎縮、網膜脈絡膜萎縮、網膜色素変性症、網膜はく離、腎性網膜症、糖尿病網膜症
聴覚、並行機能	感音性難聴、突発性難聴、神経性難聴、メニエール病、頭部外傷又は音響外傷による内耳障害、薬物中毒による内耳障害など
鼻腔	外傷性鼻科疾患
口腔・そしゃく言語	上顎癌、上顎腫瘍、喉頭腫瘍、喉頭全摘出手術、失語症、脳血栓(言語)など
肢体の障害	事故によるケガ(人工骨頭など)、骨折、変形性股関節症、肺髄性小児麻痺、脳性麻痺脊柱の脱臼骨折、脳軟化症、くも膜下出血、脳梗塞、脳出血、上肢または下肢の切断障害、重症筋無力症、上肢または下肢の外傷性運動障害、関節リウマチ、ビュルガー病、進行性筋ジストロフィー、脊髄損傷、パーキンソン病、硬直性脊髄炎、脳血管障害、脊髄の器質障害、慢性関節リウマチ、筋ジストロフィー、ポストポリオ症候群、線維筋痛症、ALSなど
精神障害	うつ病、そううつ病、統合失調症、適応障害、老年および初老などによる痴呆全般、てんかん、知的障害、発達障害、高次脳機能障害、アルツハイマーなど
呼吸器疾患	気管支喘息、肺結核、じん肺、膿胸、肺線維症、肺気腫、呼吸不全など
循環器疾患	心筋梗塞、心筋症、冠状僧帽弁閉鎖不全症、大動脈弁狭窄症、先天性疾患など
腎疾患	慢性腎炎、慢性腎不全、糖尿病性腎症、ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎など
肝疾患	肝炎、肝硬変、肝がんなど
糖尿病	糖尿病(難治性含む)、糖尿病性腎症、糖尿病性と明示された全ての合併症
血液	再生不良性貧血、溶血性貧血、血小板減少性紫斑病、凝固因子欠乏症、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形性症候群、HIV感染症など
その他	クローン病、潰瘍性大腸炎、化学物質過敏症、がん全般、その他難病など

(愛媛・松山障害年金相談センターホームページより抜粋)

★お問い合わせは、市町村の国保年金課、もしくはお近くの年金事務所へご連絡ください。  
「医療相談室・地域医療連携室」では関係機関との連携をとり、相談をつないでいます。お気軽にご相談ください。

( 医療相談室 室長 太田 多佳子 )

## 外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

1月13日（水）、1月27日（水）

◎ 多田 聡 医師（神経内科）

1月7日（木）、1月21日（木）

◎ 大西 哲史 医師（内科）

毎週火曜日のみ診察いたします

（月曜日午後の漢方外来、金曜日午前の外来診察は休診いたします。）



## クリスマス礼拝



12月14日（月）クリスマス礼拝が行われました。今年は院外の方に参加頂けなかったのが残念でしたが、パイプオルガンの優しい音色に癒され、讃美歌を歌い、今の辛い時代が嘘のように心が洗われました。

皆さんもいつもの日常を少し忘れて、楽しいクリスマスをお過ごしください♥

## 永年勤続表彰



永年勤続表彰を行いました。10年表彰7名、20年表彰14名、30年表彰5名が該当でした。人生で仕事をする時間はとても長いです。多くの経験をつんで、これからも患者さまに寄り添い、心の支えになれるよう、スタッフ一同頑張りますので応援よろしくお願いたします。



嫁もらえ  
孫抱かせよと  
去年今年

（平岡 恵行）

風に舞い  
落葉すらも  
たわむれる

（上野 節子）

長き夜や  
点滴一滴  
光りをり

（野中 政彦）

ベ  
テ  
ル  
句  
会

投句箱は受付・各病棟に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。  
『ベテル通信』についてのご意見やご要望はご意見箱へお願いします。

発行日 2020年12月23日